

〔はじめに〕

令和 8 年第 2 回那須町議会定例会の開会にあたり、新年度の町政運営に対する所信の一端を申し上げるとともに、令和 8 年度一般会計予算編成の基本方針についてご説明申し上げます。

私が、町政をお預かりして 2 期 8 年が過ぎようとしております。「夢ある未来へ！進化する那須町」を目指し取り組んでまいりましたが、初心に返り、新たな気持ちでスタートしたいと考えております。

昨年を振り返りますと、原材料価格やエネルギー価格の高騰、急激な円安の進行、世界情勢の不安定化など、社会・経済環境は大きく変動いたしました。そのような厳しい状況の中にありながらも、本町は着実に歩みを進めることができました。

道の駅那須高原友愛の森の「なすとらん」が那須高原の食の魅力を発信する開放的な空間に生まれ変わり、リニューアルオープンいたしました。また、第 20 回目となりました那須九尾まつりでは、13,700 人のお客様にご来場いただき、大盛況で活気にあふれ、那須ならではの魅力を凝縮したお祭りを開催することができました。

そして、本年 10 月からは、宿泊税の課税を開始いたします。本税収を有効に活用し、地域の観光資源のさらなる磨き上げを図るとともに、国内外から選ばれる魅力ある観光地づくりを推進してまいります。さらに、その効果を商工業や農林・畜産業をはじめとする町内のあらゆる産業の活性化へとつなげ、持続可能で活気あふれるまちづくりを進めてまいります。

令和 8 年度は、第 8 次那須町振興計画のスタートの年となります。

日本全体の構造的課題でもある人口減少と少子高齢化の現状を真摯に受けとめ、移住定住対策と子育て支援対策を重点的かつ効果的に実施してまいります。

また、物価高騰が続く中、町民の皆様の生活を支えるため、支援を必要とする方々に寄り添った施策を展開し、誰一人取り残さない町政運営を心がけてまいります。

さらには、デジタル技術を活用した行政サービスの向上、脱炭素社会の実現に向けた自然環境の保全、地域経済の活性化、文化・スポーツ振興の推進、教育環境や地域福祉の充実を図り、多世代から“選ばれるまち”の実現に向けて邁進してまいります。

いずれの分野におきましても、未来思考と創意工夫により「持続可能な那須の創生」に取り組み、夢ある未来を、町民の皆様と創り上げるとともに、町民が主役のまちづくりを進め、住んで良かったと心から思える「くらし幸福度ナンバー 1」の町を目指してまいります。

〔予算編成の基本方針〕

続きまして、令和8年度予算編成の基本方針並びに一般会計予算案の概要についてご説明申し上げます。

まず、歳入面では、根幹をなす町税について、町民税の増収が見込まれるほか、入湯税の堅調な推移に加え、新たに宿泊税を導入することで、更なる財源確保を図ります。国・県支出金についても、放射能対策事業や学校給食費負担軽減への支援等の増加により、一定の増収を見込んでおります。また、ふるさと那須町応援寄附金の増収や基金の計画的な活用により、財源の均衡を確保します。町債については、必要な公共施設整備や道路維持補修などに重点を置きつつ、健全な発行水準を維持します。

歳出面では、放射能対策や重層的支援体制の整備、教育環境の充実など、町民生活に直結する分野への投資を強化します。一方で、事業の見直しや効率化を進め、財政の硬直化を抑えながら持続可能な行財政運営を目指します。義務的経費は増加傾向にありますが、投資的経費や維持補修費など、将来の町づくりに資する分野にも必要な予算を確保します。

令和8年度の予算編成にあたっては、「第8次那須町振興計画」の初年度として、基本理念である「みどり輝き 活気と笑顔あふれ とともに未来を創るまち 那須」の実現に向け、施策を着実に展開してまいります。

〔令和8年度一般会計予算案の概要〕

令和8年度の一般会計予算は、前年度比約11.1%増の176億2,500万円といたしました。

予算編成にあたっては、財源との均衡を図りつつ、人口減少・少子高齢化を踏まえ、「安全・安心な“暮らし”を支えるまちづくり」「未来を担う“ひと”への投資」「活力を生む“稼ぐ力”の成長戦略」を重点事項として位置付けました。

本年度の予算につきまして、第8次那須町振興計画に掲げる6つの基本目標に沿って、主な事業をご説明いたします。

【基本目標1「自然とともに暮らすまち」】

基本目標1「自然とともに暮らすまち」における取り組みであります。

自然と共生した持続可能なまちづくりを推進するため、住宅への蓄電池導入を支援する補助制度を新たに創設し、ゼロカーボンシティ推進事業に取り組みます。

快適な住環境の整備を進めるため、道路・橋りょうの維持補修事業をはじめ、老朽化した配水管の更新や湯本浄化センターの耐震化・長寿命化を実施します。

移住・定住・二地域居住を促進するため、高久地区の地域優良賃貸住宅整備事業や町営住宅の施設改修・長寿命化に取り組むほか、引き続き、ふるさと定住対策事業やリビングシフト推進事業を実施してまいります。

放射能対策事業では、除去土壌等の集約地整備や搬出工事を進め、保管者の負担軽減と管理体制の強化を図ります。

【基本目標2「子育てと健康・福祉にやさしいまち」】

基本目標2「子育てと健康・福祉にやさしいまち」における取り組みであります。

子ども・子育て支援環境の充実を図るため、乳幼児おむつ等助成の拡充に加え、新たに幼児向けの図書を購入します。

また、こども誰でも通園制度の導入を進めるとともに、放課後児童健全育成事業の強化により公設・民設クラブへの支援を拡充します。

高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者など、複合的な課題を抱える方々を包括的に支援する体制を強化するため、重層的支援体制整備事業に取り組みます。

【基本目標3「産業振興により活力あふれるまち」】

基本目標3「産業振興により活力あふれるまち」における取り組みであります。

農業振興対策については、農業振興地域整備計画の改訂や農業公社委託事業の拡充をはじめ、クマ用箱罾の追加購入や防護柵設置補助予算の拡大など有害鳥獣対策事業を強化します。

観光振興対策については、観光資源と地域経済がともに発展することを目指して、観光誘客プロモーション事業や那須町観光協会誘客対策事業を、観光DMOと連携して実施します。

また、観光施設整備事業では、芦野遊行庵や東公園・元湯遊歩道など各観光拠点の再整備を進めるほか、引き続き友愛の森再整備事業を実施し、観光施設の機能強化を図ります。

【基本目標4「安全で安心して暮らせるまち」】

基本目標4「安全で安心して暮らせるまち」における取り組みであります。

頻発する自然災害や大規模火災に備えるため、消防水利の整備に取り組むとともに、消防団の施設や装備・資機材を更新するなど消防施設等整備事業を実施します。

また、防災力向上に向け、避難所設備の充実や迅速かつ正確な情報発信手段の整備・強化をはじめ、孤立集落対策を含む自主防災組織への支援など地域防災力の向上に取り組みます。

【基本目標5「教育・文化・スポーツの充実したまち」】

基本目標5「教育・文化・スポーツの充実したまち」における取り組みであります。

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、小・中学校における学校給食の無償化を実施します。

I C T教育などデジタル技術を活用した教育を推進するため、タブレット端末や電子黒板を更新するとともに、小・中学校特別教室へのエアコン設置やトイレ環境の改善により学校教育環境の快適性の向上に取り組みます。

那須町の将来を担う人材育成のため、小・中学校児童・生徒が主体となって企画・実施する活動を支援する児童生徒チャレンジ推進事業交付金を創設するとともに、中学生派遣事業では、広島派遣に加え、モンゴル交流事業を新たに実施し、国際理解教育の充実を図ります。

【基本目標6「協働と行財政改革をすすめるまち」】

基本目標6「協働と行財政改革をすすめるまち」における取り組みであります。

町民が地域の特色に応じた自立・共助のまちづくりを進めるため、旧伊王野小学校跡地利

活用事業に着手します。

効率的な行政運営を進めるため、デジタル・フロントヤード改革や施設予約システムの導入等のDX推進事業に取り組みます。

また、ふるさと納税の返礼品の充実・強化等に取り組み、令和8年度は寄附額13億円を目指します。

さらに、宿泊税を導入し、観光財源の確保と持続可能な観光施策の推進を図ります。

引き続き健全財政を維持し、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

以上が、令和8年度の予算編成の基本方針及び一般会計予算の概要であります。

新年度も、那須町の素晴らしい未来を見据えながら、持続的な発展に向けた施策を着実に推進してまいりますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援、ご協力を心からお願い申し上げまして、令和8年度に向けた「町政運営」並びに「予算編成の基本方針」の説明とさせていただきます。